

かくだ

Kakuda city

市議会だより

第188号

平成28年8月1日



ライブ・録画配信やってます

<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp/>

※詳細は11・12ページ



▲米国グリーンフィールド市訪問団 議場見学（平成28年6月15日）

■おもな内容■

第383回定例会	2～8
◇本会議の概要	2～3
◇陳情の処理・意見書の提出	2
◇議員表彰	2
◇審議結果一覧	3
◇一般質問	4～8

◆行政視察の報告	9～10
◆各地区振興協議会との角田市議会 一般会議の報告	10
◆議会の録画中継の配信が始まりました	11
◆9月定例会日程（予定）	12
◆議会日誌	12
◆編集後記	12

補正予算議案など19議案を
審議しました

第383回定例会は6月3日に招集され、市長提出議案が18件、議員提出議案が1件、あわせて19件の議案を審議しました。上程された議案は慎重に審議し、21日間の会期を経て6月30日に閉会しました。

本会議

◎第1日（6月10日）

会期を21日間と決定した後、平成27年度角田市一般会計繰越明許費繰越計算書ほか2件の報告がありました。

その後、市長から上程された議案について提案理由の説明があり、専決処分5議案については、表決の結果、原案のとおり承認しました。

◎第2日（6月21日）

初日に提案された議案に対し、日下七郎議員、八島定雄議員の2人が質疑を行いました。

次に角田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定についての条例関係1議案につ

いて、所管の総務財政常任委員会に付託しました。

長から審査の経過及び結果の報告があり、質疑、討論、表決を行い、原案のとおり可決しました。

次に、市長から平成27年度（繰）野田排水区雨水ポンプ場機械設備工事請負契約の締結についてなど2議案について、提案理由の説明があり、質疑、討論、表決を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

最後に、意見書の提出に関する議員提出議案1議案について提案理由の説明があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

審議結果は、表1のとおりです。

◎第3日（6月27日）

角田市議会議員及び角田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正についてなど10議案について審議し、表決の結果、原案のとおり可決しました。

その後、一般質問が行われ、4人の議員が市政全般について質問を行いました。

最後に、意見書の提出に関する議員提出議案1議案について提案理由の説明があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

審議結果は、表1のとおりです。

◎第4日（6月28日）

前日に引き続き、6人の議員が一般質問を行いました。

総務財政常任委員会に付託された条例関係1議案について、小湊毅総務財政常任委員

最後に、意見書の提出に関する議員提出議案1議案について提案理由の説明があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

審議結果は、表1のとおりです。

◎第5日（6月30日）

総務財政常任委員会に付託された条例関係1議案について、小湊毅総務財政常任委員

最後に、意見書の提出に関する議員提出議案1議案について提案理由の説明があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

最後に、意見書の提出に関する議員提出議案1議案について提案理由の説明があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

最後に、意見書の提出に関する議員提出議案1議案について提案理由の説明があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

◎施行期日 公布の日

最後に、意見書の提出に関する議員提出議案1議案について提案理由の説明があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

最後に、意見書の提出に関する議員提出議案1議案について提案理由の説明があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

最後に、意見書の提出に関する議員提出議案1議案について提案理由の説明があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

最後に、意見書の提出に関する議員提出議案1議案について提案理由の説明があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

◎議員表彰

5月31日、東京国際フォーラム（東京都）において、全国市議会議長会第92回定期総会が開催され、同会会長から次の方が表彰されました。

◆一般表彰
（議長4年以上）
佐藤 正友 前議長
高橋 力雄 議員

◆一般表彰
（議長4年以上）
佐藤 正友 前議長
高橋 力雄 議員

◆一般表彰
（議長4年以上）
佐藤 正友 前議長
高橋 力雄 議員

◎陳情の処理

▼日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書の提出を求める陳情
仙台市青葉区五橋一丁目5-13
2016年原水爆禁止国民平和実行宮城県実行委員会
代表委員 青木 正芳

▼日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める陳情
仙台市青葉区五橋一丁目5-13
2016年原水爆禁止国民平和実行宮城県実行委員会
代表委員 青木 正芳

▼日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める陳情
仙台市青葉区五橋一丁目5-13
2016年原水爆禁止国民平和実行宮城県実行委員会
代表委員 青木 正芳

▼日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める陳情
仙台市青葉区五橋一丁目5-13
2016年原水爆禁止国民平和実行宮城県実行委員会
代表委員 青木 正芳

◎意見書の提出

国の関係機関へ、次の意見書を提出しました。

国の関係機関へ、次の意見書を提出しました。

国の関係機関へ、次の意見書を提出しました。

国の関係機関へ、次の意見書を提出しました。

◎条例の制定

▼角田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について

▼角田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について

▼角田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について

▼角田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について

◎条例等

表1

第383回定例会審議結果一覧

議員数は18人。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は17名。（○…賛成、×…反対）

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			政友会	市民クラブ	日本共産党 角田市議団	創生会	無党派
市長提出議案							
専決処分							
角田市市税条例等の一部改正について	6月10日	承認	○	○	○	○	○
角田市固定資産評価審査委員会条例等の一部改正について	6月10日	承認	○	○	○	○	○
角田市都市計画税条例の一部改正について	6月10日	承認	○	○	○	○	○
角田市国民健康保険税条例の一部改正について	6月10日	承認 (賛成15 反対2)	○	○	×	○	○
角田市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	6月10日	承認	○	○	○	○	○
平成28年度補正予算							
角田市一般会計補正予算（第1号）	6月27日	可決	○	○	×	○	○
角田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	6月27日	可決	○	○	○	○	○
角田市介護保険特別会計補正予算（第1号）	6月27日	可決	○	○	○	○	○
角田市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	6月27日	可決	○	○	○	○	○
角田市水道事業会計補正予算（第1号）	6月27日	可決	○	○	○	○	○
条例							
角田市議会議員及び角田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	6月27日	可決	○	○	○	○	○
角田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準等に関する条例の一部改正について	6月27日	可決	○	○	○	○	○
角田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準等に関する条例の一部改正について	6月27日	可決	○	○	○	○	○
角田市学校給食センター条例の一部改正について	6月27日	可決	○	○	○	○	○
角田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について	6月30日	可決	○	○	×	○	○
その他							
平成28年度角田市陸上競技場改修工事請負契約の締結について	6月27日	可決	○	○	×	○	○
平成27年度（繰）野田排水区雨水ポンプ場機械設備工事請負契約の締結について	6月30日	可決	○	○	○	○	○
平成27年度（繰）野田排水区雨水ポンプ場電気設備工事請負契約の締結について	6月30日	可決	○	○	○	○	○
議員提出議案							
日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書の提出について	6月30日	可決	○	×	○	○	×

各会派の構成メンバー

- 政友会（渡邊誠、相澤邦戸、八島利美、黒須貫、武藤広一、堀田孝一）
- 市民クラブ（谷津睦夫、湯村勇、星守夫、高橋力雄、細川健也）
- 日本共産党角田市議団（日下七郎、八島定雄）
- 創生会（小湊毅、武田暁）
- 無党派（会派に属さない議員）馬場道晴、小島正副議長、柄目孝治議長



市役所の職員体制の充実について

八島定雄 議員

議員▼第5次定員適正化計画を今年度中に策定することのようですが、私は、正職員の削減はもう限界にきているのではないかと考えます。市長の考えを伺います。

市長▼時代とともに事務の内容が大分変わってきていて、国から地方に対する移譲事務も大分増えていますので、事務そのものも簡単に減らすことができない中で、果たしてどれだけの人員を確保すればいいのか最大の問題です。職員の適正化を考

方が6人、専門職の方が3人いるとのことですが、このような方に対して、経験年数、勤務能力等で報酬額を見直しして、全体として一般職非常勤職員のモチベーションを高めていくべきと考えますが、前向きに検討する考えがあるか伺います。

議員▼子ども達にとつて学校生活は楽しく学習し、団生活が体験し、心身の成長ができる場所です。その成長に何らかの理由で登校できない子ども達もいます。理由としては、発達障害や、学習障害、いじめ、不登校、家庭環境の変化、親の都合など、様々な理由が考えられます。指導してあげたいと思います。

不登校児童生徒の対応について

相澤邦戸 議員



議員▼不登校児童生徒は、市教育委員会が中心となって対応していると思いますが、家庭訪問や電話連絡など、組織的に対応しているのか、生活指導員、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、外部機関との連携など、行っているのでしょうか。

議員▼将来、引きこもりにならぬよう、よろしく指導願います。

住民票不正取得の防止について

高橋力雄 議員



議員▼住民票を知らぬ間に異動され、多額の債務を負ってしまった事例が報道されていました。角田市において、郵送で「なりすまし」による住民票の異動をされないための防止策はあるのか伺います。

市長▼全国的に多発している「なりすまし事件」を受け、平成20年5月1日から窓口における本人確認が義務化されましたが、その後も住民票の不正異動及び取得については、後を絶たない状況にあります。本市においては、このような事案は確認されておりませんが、議員の質問を機に、郵送による転出の手続きの場合、本人が知らない間に住所を異動させられることを防止するため、届出を受理した上で、異動者本人に対して「角田市があなたの住民異動届を受理しました」という住民異動届受理通知を異動前の住所に郵送で送付したいと考えております。

議員▼今回報道された手口は、偽の求人ホームページを立ち上げ、免許証等の身分証明書のコピーを送らせるものでした。一昨年、角田警察署と連携して、大々的に特殊詐欺防止キャンペーンを行いました。また、「なりすまし詐欺」も含め、新たにキャンペーンをやる時期ではないかと思えますが、いかがですか。

角田警察署管内で、振り込め詐欺被害発生! (平成27年中の角田警察署管内特種詐欺被害状況)
オレオレ詐欺 2件360万円
騙金請求詐欺 3件102万円
運付金等詐欺 3件192万円

▲振り込め詐欺防止チラシ

議員▼確かな基礎学力の定着とありますが、市内小・中学校の学力の現状と今後の方策について伺います。

議員▼市内の中学校3校は震災による被ばく防止設備の老朽化等を理由としてプール使用が止められ5年が経過しました。市内の温水プールを利用するため、プール授業の時間が相当減っているようです。今後の見通しを伺います。

議員▼屋外にある古墳等の文化財保存状況が良好でないことがあり、市民の皆様に後世へ伝える必要があると思

未来へ向けた教育環境整備について

武田 曉 議員





平成30年4月1日に新設開業される「保育所」と認定子ども園について

小湊 毅 議員

議員▼角田保育所の老朽化に伴い、角田保育所を廃止し、新たに保育所と認定子ども園の2カ所を新設するという計画ですが、2カ所とも平成30年4月に必ず開業することです。

市長▼平成30年4月の開所を目指して事務を進めてきましたが、移転候補地の見直しを行ったことにより、全体的なスケジュールの見直しが必要となります。平成30年度の中途開所もあり得ると考えています。現在、場所の選定を急いでおり、場所が決まれば民設民営できる事業所の募集をかけることとなります。建設単価の高騰もあり、事業所としてもすぐにはやれないという状況もあります。こういった対応をすべきを含め、個別に事業所を当たりながら判断をしていきたいと思っております。候補地と開所までの具体的なスケジュールは8月下旬まで

にお示ししたいと考えています。議員▼保育所は重要な社会インフラであり、この施設を中心に地域づくりを考えることも可能です。また、角田市内に3つの中学校があり、それぞれの中学校が今後も続く努力をしていくべきであります。今後、保育施設が3カ所になるのだから、それぞれの学区ごとに一つずつという姿が、将来の角田市の姿を考えた場合、望ましい姿であると考えます。場所選定に当たり、中学校の学区ごとの保育施設という検討をされたのか伺います。

議員▼現在の保育所利用時間は、延長保育を含め、最大午前7時半から午後7時までとなっておりますが、保育時間延長の要望は多いと考えます。角田市内の事業所の営業時間、稼働時間を考慮した上で、保育時間の延長を検討したことがあるか伺います。

市長▼開所時間については、利用者の方々の御意見を聞くということで検討してきました。また、民間保育所のメリットとして弾力的な運営ができません。他市町村の民間保育所では、角田市の開所時間より長時間対応しているところも見受けられますが、新たに整備する保育所等の開所時間については、現在の公立保育所の開所時間を基準とし、延長保育の需要動向を見ながら事業者との協議を進めていきたいと考えています。

議員▼行政財産目的外使用の許可を受けた者が、自動販売機設置業者に当該行政財産を転貸(また貸し)し、手数料の徴収をすることは可能なのか、市長に伺います。

行政財産目的外使用料に関する事について

日下七郎 議員



市長▼行政財産目的外使用の許可については、地方自治法第238条の4第7項及び角田市公有財産規則第23条の目的外使用の許可については、地方自治法第238条の4第7項及び角田市公有財産規則第23条の目的外使用の許可を受けた者が、自動販売機設置業者に当該行政財産を転貸(また貸し)し、手数料の徴収をすることは可能なのか、市長に伺います。

議員▼行政財産目的外使用の許可を受けた者と自動販売機の設置者が違い、行政財産目的外使用の許可を受けた者が自動販売機設置者から手数料を徴収していることは転貸ではないですか。市長▼角田市文化協会(以下「文化協会」とい)に対して使用許可をし、市民センターの談話室に自動販売機3台を設置してあります。平成27年の行政財産目的外使用料として市に3万45円を納入しており、転貸することとは規則及び使用許可条件で禁止していません。文化協会の契約形態は、自動販売機の設置管理を業者に委託しており、権利の転貸及び譲渡には当たらないと考えています。

182,493円の手数を徴収していることは、使用許可条件で禁止の権利の転貸であり、地方自治法の規定による営利事業団体への寄附・補助金の禁止に当たり、文化協会への補助金75万円にも疑問が生じ、また文化協会の平成27年度収支決算書の支出の部の項目は、角田市に支払うべきであり、行政財産目的外使用料及び電気料の記載もありません。よって、行政財産に設置されている自動販売機全てを角田市直営の自動販売機にし、財源の確保に努める考えはあるのか伺います。

市長▼改善点は様々あると思っております。特に今回は、文化協会の決算処理に関して、決算書にその使用料等の記載がないことなどは、教育委員会に指導しますし、財政のチェックを十分できるようにしていきたいと思っております。自動販売機を市の直営で市の収入にすることが果たしてどうなのか等も含め、問題を整理し、見直しを図っていきたく思います。

○国民健康保険税等に関する事について

議員▼現在、あぶくま川水系角田地区土地改良区で管理している土地改良施設は膨大な量があり、市内全域の田畑に配置された用・排水路や、場・排水機場、ため池、その他附帯施設があり、それらの維持管理費用も多額であり、農作物の生産コストに占める割合も高く、経営的にも厳しい台所事情にあります。

「(仮称)土地改良施設多面的機能補助金」の新設について

武藤 広一 議員



これらの施設は、農業の生産基盤を支えるだけでなく、自然豊かな田園風景や水路に水が流れていることによる浄化作用、水辺空間が市民に憩いと潤いの場を提供しています。更には、有事の際の防火用水などの機能も有しています。特に水田は、大雨の時に洪水から市街地を守るための重要なダム機能を担っています。このように様々な多面的機能があり、農家だけでなく、一般市民にとってもなくてはならない大切な財産ではないかと考えます。

市長▼武藤議員には、大変農家経営に対する心配をいただいているところですが、農業水利施設は、農業生産面での役割だけではなく、水資源の涵養や自然環境の保全、良好な景観の形成、大雨時における水位調整池の役割など多面的機能を有しているものと考えております。議員が提案している補助金の新設であります。用・排水路の除草等の維持管理を含め、農業用の水利施設については、今後も維持補修等を行わなければならない施設等が山積しております。そういったことから、補助対象事業について、優先順位を見極めながら、あぶくま川水系角田地区土地改良区とともに、農家負担軽減のため今後の支援内容について検討していきたいと考えております。経営の現状をよく見て、どういったところに支援をしていったらいいのか判断したいと思っております。

議員▼宮城県では、公明党が一貫して導入を訴えてきたドクターヘリの運航が、いよいよ本年秋から開始されます。ドクターヘリとは、救急医療用の医療機器等を装備したヘリコプターで、医師と看護師が同乗し救急現場等に向かい、現場から医療機関に搬送するまでの間も救命措置を行うことができるものです。救急隊とドクターヘリが合流する緊急離着陸場であるランデブーポイントとは、学校のグラウンドや駐車場など事前に決められております。もちろん災害時の緊急時には、消防機関や警察機関が着陸場所を確保した上で災害現場の直近に降りることもありです。

宮城県では、ドクターヘリの運航に当たり、このランデブーポイントを県内で400カ所程度確保することを目標とし、各消防署から適地の選定について推薦を受ける形

許可基準に基づいて、許可を行っていただきます。行政財産の転貸については、角田市公有財産規則第22条において、原則として権利の転貸または譲渡は禁止していただきますので、許可を受けた者がその権利を転貸し、手数料を徴収することは不可能であります。議員▼行政財産目的外使用の許可を受けた者と自動販売機の設置者が違い、行政財産目的外使用の許可を受けた者が自動販売機設置者から手数料を徴収していることは転貸ではないですか。市長▼角田市文化協会(以下「文化協会」とい)に対して使用許可をし、市民センターの談話室に自動販売機3台を設置してあります。平成27年の行政財産目的外使用料として市に3万45円を納入しており、転貸することとは規則及び使用許可条件で禁止していません。文化協会の契約形態は、自動販売機の設置管理を業者に委託しており、権利の転貸及び譲渡には当たらないと考えています。

○国民健康保険税等に関する事について

とりました。本市でも県からの依頼があり、場所の選定をされていると思っております。本市では、ランデブーポイントを何カ所予定しているのか伺います。

市長▼角田市所有の土地で13カ所ありますが、主に小・中学校のグラウンド、角田中央公園多目的運動場などです。また、角田市所有の土地以外で4カ所が予定されており、県有地や国土交通省の国有地などは、県の担当部局で、土地所有者と現在調整中です。議員▼今回選定されたランデブーポイントの選定理由を伺います。

市長▼本市においては仙南地域広域行政事務組合消防本部から適地として推薦を受けた場所及び宮城県消防防災ヘリの離着陸場として登録している場所を候補地としています。ランデブーポイントとなる場所の条件として①ドクターヘリが着陸す

ドクターヘリの運航について 馬場道晴 議員



子ども・子育て支援事業について
教育厚生常任委員会行政視察から

黒須 貫 議員

議員▼角田市の保育施設の公立と民営の位置づけについて伺います。市長▼角田市には現在、市立保育所と中島保育所の2つの公立保育所があります。角田保育所については民営保育所による建て替えを計画しており、また、認定子ども園も新設します。中島保育所は当分の間公営とし、障がい児保育や病後児保育など民間では対応が難しい保育サービスの受け皿として、地域の子育ての拠点の役割等を担っています。議員▼保育士の不足を補う施策として、0歳児保育の「乳幼児3人に保育士1人」に保育士を確保する必要があるという要件を「乳幼児4人に保育士1人プラス補助員(保育経験者)」に緩和できないか伺います。市長▼子どもの人数に対する保育士の人数は、子どもの安全や保育の質を確保できるように厚生労働省令で定められており、市の判断で緩和はできません。

「(仮称)スポーツビレッジ角田」構想について 議員▼賑わいの交流拠点「道の駅」のコンセプトは「スポーツ・食・健康」だと思えますが、いかがですか。市長▼関係課職員で専門部会を立ち上げており、賑わいの創出、活発な市民参加による交流人口増について検討を進めます。議員▼道の駅を含む角田中央公園エリア全体を交流拠点とするなら、運営組織・運営方法を公共施設から営利施設へ転換すべきと考えますが、いかがですか。市長▼同感です。施設をフルに利用し、市民活動の活発化、そして地域の産物等が販売できる場所

にしたいと考えています。議員▼平成29年3月の常磐自動車道山元南スマートインターチェンジ開設に伴う地域活性化策について伺います。市長▼角田山元トンネル周辺の尾山・藤田地区に加え、山元南スマートインターチェンジにつながる角田山元線沿線の島田・枝野地区も工業ゾーン指定を検討したいと思えます。インターチェンジに近くで地盤が固いところも適地と考えますが、枝野小学校周辺道路の整備と併せて検討していきます。議員▼常磐自動車道の全線4車線化促進について伺います。市長▼県内外の関係自治体で構成する常磐自動車道建設促進期成同盟会、県内の関係自治体で構成する宮城県常磐・三陸縦貫自動車道整備促進期成同盟会等で、引き続き国に働きかけていきたいと思えます。

議員▼地域の元気をつくる地域センター型の全国モデル道の駅の一つである山口県萩市「道の駅萩しーまー」とを参考に、①道の駅基本6機能、②地産地消、③地域産品情報発信、④食の観光、⑤食育、⑥地域資源ブランド化、⑦都市部への販路拡張、⑧新規商材の開発、

地域活性化の多機能拠点施設としての「道の駅」整備について

八島利美 議員



⑨地域協働、⑩若手人材の育成、⑪子育て支援を担う「地域活性化の多機能拠点」として整備すべきと思えますが、市長の考えを伺います。市長▼多くの方は、「道の駅＝直売所」である、道の駅が持つ機能の一面だけを捉えているようにですが、ご提案のように、道の駅は様々な機能を発揮することができ、複合施設であり、角田市において、これまでになかった重要な施設になると思えます。様々な機能を持たせることをやっていかないと道の駅本来の機能が発揮できないことから、集中投資をし、集中的に色々なアイデアを盛り込んでいく、そんなことをしていきたいと思えます。議員▼道の駅整備を契機として、観光地や既存施設との連携を図ることが重要と考えます。西の道の駅とも言うべき「産直市場あがり」とを農産物販売の拠点と位置づけ、三二道の駅として周辺整備するお考えはないか伺います。市長▼小さな道の駅としての整備の仕方があると思います。そういう事業

に対して補助事業があるかと思うので、何らかの方策を採す工夫も必要かと思えます。議員▼道の駅成功の鍵は駅長にありと言っても過言ではないと思えます。市長▼先に提案いただいた内容も含めて実現するためには、経営計画や団体の設立の準備段階から人選を進めた方がスムーズに事業実施に移行できると思えますので、平成28年度中には予算計上し、候補者の募集を行いたいと考えています。管理運営団体の設立後にスムーズに経営責任者となるよう、また、管理運営団体は新しい公共の担い手としての役割があると考えられますので、民間活動だけでなく行政の考え方や進め方を理解していただくためにも、早期の採用が必要だと思っています。また、採用の形態は、特定業務任期付職員で採用した方がいいのではないかと考えています。

行政視察の報告

《教育厚生常任委員会》

●視察期間

平成28年5月23日(月)～25日(水)

●視察地・目的

- ① 栃木県大田原市 待機児童解消に向けた取組みについて
- ② 栃木県宇都宮市 いじめ等による子どもの不登校対策について
- ③ 栃木県鹿沼市 公立保育園の民営化について



▲大田原市「かねだ保育園」にて

●視察所感 ① 栃木県大田原市 保育園の待機児童解消施策の一つとして行っている転園補助制度は、保育園から幼稚園に転園した児童の保護者・幼稚園それぞれに補助金が交付されるものである。大田原市は公立保育園の民営化については3園の実績があり、平成25年4月に一カ所民営化に移行された際には、住民説明会を開催したほか、保護者・地区の代表・関係法人・保育士が問題点解消のために努力しており、民営化後の利用者アンケートでは、保育内容について「大変満足」が45%、「おおむね満足」が49%であった。子どもを大切に育てることを一番に考えており、明るく広い保育室で楽しそうに遊ぶ子ども達が目撃的であった。

② 栃木県宇都宮市 不登校対策として、学校側では楽しい居心地の良い学校・学級経営の充実に努め、小・中学校の連携強化を図り、たくましい子どもの育成を推進している。一方、不登校となった子どもに対しては、安心して身を委ねられる居場所を提供していた。その一つである「まちかどの学校」では、学校へ復帰させ

ることだけを目的とはせず、そこで学んだ体験等により自分で判断できる力を養い、自信を持つための教育システムが確立されていると感じた。

●視察期間

平成28年5月24日(火)～26日(木)

●視察地・目的

- ① 広島県竹原市 道の駅たけはらの商品開発と概要、経営状況及び課題等について
- ② 広島県尾道市 道の駅クロスロードみつぎの商品開発と概要、経営状況及び課題等について
- ③ 山口県萩市 道の駅萩しーまーとの商品開発と経営状況及び課題等について
- ④ 岡山県笠岡市 道の駅笠岡ベイファームの商品開発と経営状況及び課題等について

●視察所感

① 広島県竹原市 テレビドラマ「マッサン」の宣伝効果もあり観光客が多いことから道の駅の来客数は伸びているが、今後、観光客数の減少が見込まれるとの説明には、「次の一手」をいかにするかという産みの苦しみが感じられた。また、農産物については出荷者に品揃えや価格設定の権限を委ねており、運営会社側からはPOSシステムによる最大4回/日の販売状況の通知を行うのみである点は新鮮に感じた。



▲鹿沼市「菊沢コミュニティセンター」にて

② 広島県尾道市

この道の駅で特筆すべきは、その設立の経緯である。合併前の御調町時代

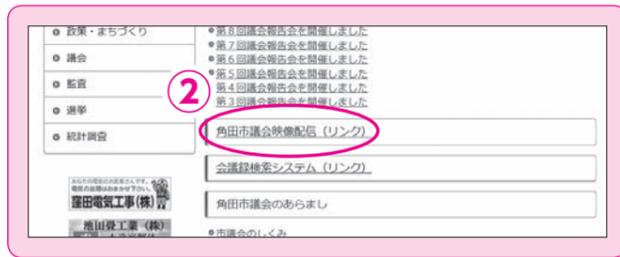
議会の録画中継の配信が始まりました

角田市議会では、本会議・各特別委員会・全員協議会において、インターネットによるライブ中継を行っておりますが、平成28年6月定例会から、本会議等の録画中継の配信を行うとともにスマートフォンやタブレット端末からも視聴ができるようになりました。

①「角田市のホームページ」の「市議会情報」ボタンを押す。



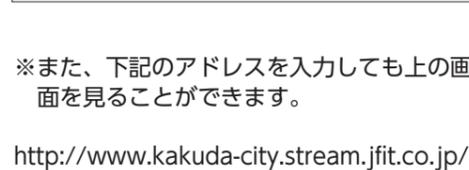
②「角田市議会映像配信(リンク)」ボタンを押す。



③生中継(ライブ中継)をご覧になる方は『生中継を見る』ボタンを押す。



④録画中継をご覧になる方は、該当する検索方法ボタンを押す。



※また、下記のアドレスを入力しても上の画面を見ることができます。
<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp/>

スマートフォン・タブレットで見た画面



QRコード



▲尾道市「道の駅クロスロードみつぎ」にて

③山口県萩市
道の駅を論じた場合に、まず名前が挙がる中澤さかな駅長が腕を振るうとあって、盛況な様子にまず感服した。経営の核となる確固たる理念、緻密なマーケティング、地の利を存分に活かした商材の仕入れ、外部への積極的な情報発信、向上心溢れる人材の確保等々、非常に魅力的な組織運営がなされていた。

地元市民のための市場を目指すとの理念に基づき、鮮魚の販売価格は闇雲に安さを追求せず、適正な価格設定とすることで売り手・買い手・生産者のバランスをとっていたことは、地元経済の安定化に貢献していると感じた。

④岡山県笠岡市
笠岡湾の干拓地に道の駅を設置するにあたり、市民や議会の理解を得る事に相当な努力を払っていた。「果たして本当に集客できるのか」と大きな不安を抱いていたが、売場数は当初予定の6倍以上、売上は4倍以上と嬉しい誤算だったことには、地域の高い期待があったからと感じた。

出荷者の確保については、駅長が農家を一軒ずつ廻り出荷要請と粘り強い交渉をしており、並々ならぬ熱意を感じた。

広報についても、ワンソースマルチユース(一つの情報を、媒体に合わせて変化させて活用すること)を徹底しており、効率化を図っていたことには感銘を受けた。



▲各地区振興協議会との角田市議会一般会議の様子

●単に施設を建てるのではなく、憩い・癒し・魅力がある等、人が誘い込まれる空間作りをして欲しい。

●農林水産省の調べで、オーガニックの農産物を「4割から5割高でも購入する」と回答した方がいる。安心・安全だから購入する方も消費者の中にはいる。他店との商品の差別化・付加価値をつけるため、生産者は何かしらの手段を講じなければならない。

●道の駅を運営することは生易しくはない。経営者の手腕にかかっており、カリスマ性・実績のあるトップをいかにして人選するかが、成功への鍵である。

●定住促進、角田・いらっしやいプランや子育て支援等により一層力を注いでいただき、この角田市に生まれ育って良かったと、心から角田市を誇れるような町づくりをして欲しい。

②道の駅をはじめとする賑わいの交流拠点施設整備実施計画における地域振興について

各地区振興協議会との角田市議会一般会議の報告

●会議の議題

- ①角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略における地域振興について
 - ②道の駅をはじめとする賑わいの交流拠点施設整備実施計画における地域振興について
- 開催日 平成28年3月29日
- 開催場所 市役所301会議室
- 対応した委員会 議会運営委員会
- 参加関係団体等名 各地区振興協議会
- 参加団体等の人数 18人
- 傍聴人数 18人
- 主な意見(抜粋)

